

自分にできること ーダリウス君の挑戦ー



(Drawn by Hinako FUJIMURA)

アメリカのニュージャージー州にダリウス・ブラウン (Darius Brown) という男の子がいます。彼はあることをして、オバマさんから手紙をもらいました。オバマさんは、アメリカの前の大統領です。ダリウス君は、どんなことをしたのでしょうか。

ダリウス君は、2歳のときにお医者さんに、「君は、話す力、理解する力、運動する力がほかの子どもより少し低い」と言われました。しかし、ダリウス君はいつも誰かの役に立ちたいと思っていました。8歳の時に、ダリウス君は、お姉さんにミシンの使い方を教えてもらいました。そして、すぐ上手になって、蝶ネクタイが作れるようになりました。

ダリウス君が10歳のとき、アメリカに大きなハリケーンが来ました。ダリウス君は、そのニュースを見て、とてもショックを受けました。人は、だれかに助けてもらえます。でも、動物を助ける人がいるかどうかは、わかりません。このとき、ダリウス君は、「僕が動物を助けてあげよう」と決めました。

その後、ダリウス君は動物を助ける家があることを知りました。この家には、人に捨てられた犬や猫が住んでいます。そして、新しい家族が来るのを待っています。しかし、その家の動物がいっぱいになると、殺されてしまいます。そこで、ダリウス君は、この動物の家族が早く見つかるように、動物に蝶ネクタイをプレゼントしました。犬や猫は蝶ネクタイをして、とてもかわいいです。

ダリウス君は今も動物を育てる家に行って、蝶ネクタイを届けています。動

物の家族を探すために、イベントにも参加しています。SNS を使って、動物を育てる家について紹介もしています。このことでダリウス君は、2018 年にオバマさんから手紙をもらったのです。

すぐに社会が変わることはないでしょう。けれど、12 歳のダリウス君は絶対にあきらめません。ずっと動物を助けていきます。

(753 字)

(2020.9 Written by Wakiko FUTAKUCHI)

<参考資料>

- ・「笑うメディアクレイジー」ウェブサイト「12 才の少年は、保護施設の犬猫のために『蝶ネクタイ』を手作りする」

<https://curazy.com/archives/251521>

- ・「gofundme」ウェブサイト「Sir Darius's PAW-SOME Mission」

<https://www.gofundme.com/f/sirdarius>

- ・「SIR DARIUS BROWN」ウェブサイト

<https://www.sirdariusbrown.com/press>

(2020.9.25 ウェブサイト確認)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示・非営利・継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典: 「たどくのひろば」 (<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License.

When you use this work, please indicate the source as in the example above.